

教科	数学	学年	2学年
----	----	----	-----

教科書	未来へひろがる数学 2
補助教材	数学の問題ノート2, 計トレ! 80 (新学社)

年間指導目標	
数量、図形などに関する基礎的な概念や原理・法則の理解を深め、数学的な表現や処理の仕方を習得し、事象を数理的に考察する能力を高めるとともに、数学的活動の楽しさ、数学的な見方や考え方のよさを知り、それらを進んで活用する態度を育てる。	

学期	単元	内容	目標・留意点
1 学期	式の計算	式の計算 文字式の利用	文字式の簡単な四則演算ができる。具体的な事象の中の数量の関係を文字を用いた式で表したり、式の意味を読み取ったりすることができる。文字を用いた式で数量・数量の関係を捉え説明できることを理解する。目的に応じて、簡単な等式を変形することができる。
	連立方程式	連立方程式 連立方程式の利用	二元一次方程式とその解の意味を理解する。連立方程式の必要性和意味を理解する。簡単な連立方程式を解くことができる。
	一次関数	一次関数とグラフ 一次関数と方程式 一次関数の利用	一次関数について理解する。事象の中には、一次関数として捉えられるものがあることを理解する。二元一次方程式を関数を表す式とみることができる。
2 学期	図形の調べ方	平行と合同 証明	平行線や角の性質を理解する。多角形の角についての性質を見いだすことができる。平面図形の合同の意味、三角形の合同条件について理解する。証明の必要性和意味、その方法について理解する。
	図形の性質と証明	三角形 四角形	直角三角形の合同条件について理解する。証明の必要性和意味、その方法について理解する。三角形の合同条件をもとにして三角形や平行四辺形の基本的な性質を論理的に確かめたり、証明を読んで新たな性質を見いだすことができる。
3 学期	場合の数と確率	場合の数と確率	多数回の試行によって得られる確率と関連付けて、場合の数をもとにして得られる確率の必要性和意味を理解する。簡単な確率を求めることができる。確率を用いて不確定な事象を捉え考察し表現することができる。
	箱ひげ図とデータの活用	箱ひげ図	箱ひげ図や四分位範囲の必要性和意味を理解する。データを整理し、箱ひげ図で表すことができる。箱ひげ図や四分位範囲を用いてデータの分布の傾向を比較して読み取り、批判的に考察し判断することができる。

主な 評価方法	知識・技能	定期テスト, 計算テスト等
	思考・判断・表現	定期テスト, レポート, 自己評価カード等
	主体的に学習に取り組む態度	ワーク, ノート, 「知識・技能」「思考・判断・表現」の結果等